

# 泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報17

1999・3

泉大津市教育委員会



# 泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報17

1999・3

泉大津市教育委員会

## 例 言

1. 本調査概報は、泉大津市教育委員会が、市内に所在する埋蔵文化財包蔵地内において、開発行為に先立って実施した発掘調査報告である。
2. 本調査は、国庫補助事業及び、大阪府補助事業（総額1,000,000円、国庫補助率50%、府補助率25%、市負担率25%）として、泉大津市が計画・実施したものである。
3. 本調査は下記の構成で実施した。

調査主体者	泉大津市教育委員会教育長	堺 四郎
事務局	泉大津市教育委員会社会教育課	
調査担当者	泉大津市教育委員会社会教育課	虎間 麻実
外業調査員		辻川 陽一
内業調査員		松村まゆみ
4. 本事業は、平成10年度事業として、平成10年4月1日に着手して、平成11年3月31日に完了した。
5. 本書の執筆・編集は虎間が行った。

## 目 次

第1章 泉大津市と埋蔵文化財調査の状況.....	1
1. 泉大津市の位置と環境.....	1
2. 埋蔵文化財調査の現状.....	1
第2章 発掘調査成果.....	5
1. 豊中遺跡.....	5
2. 池上曾根遺跡.....	9
3. 池浦遺跡.....	11
4. 板原遺跡.....	12
発掘調査抄録.....	13

## 挿 図

第1図 泉大津市の位置.....	1
第2図 遺跡分布図.....	2
第3図 豊中遺跡 第1地点 掘削位置図.....	5
第4図 豊中遺跡 第1地点 北壁断面図.....	5
第5図 豊中遺跡調査地点図（1：5,000）.....	6
第6図 豊中遺跡 第2地点 掘削位置図.....	7
第7図 豊中遺跡 第2地点 北壁断面図.....	7
第8図 豊中遺跡 第3地点 掘削位置図.....	7
第9図 豊中遺跡 第4地点 掘削位置図.....	8
第10図 豊中遺跡 第5地点 掘削位置図.....	8
第11図 豊中遺跡 第5地点 北壁断面図.....	9
第12図 池上曾根遺跡調査地点図（1：5,000）.....	10
第13図 池上曾根遺跡 調査地 掘削位置図.....	10
第14図 池上曾根遺跡 調査地 北壁断面図.....	10
第15図 池浦遺跡調査地点図（1：5,000）.....	11
第16図 池浦遺跡 調査地 掘削位置図.....	11
第17図 池浦遺跡 調査地 北壁断面図.....	11

第18図 板原遺跡調査地点図（1：5,000）	12
第19図 板原遺跡 調査地 挖削位置図	12
第20図 板原遺跡 調査地 北壁断面図	12

## 挿 表

表1 遺跡別届出件数（平成9年度追加分）	3
表2 遺跡別届出件数	3
表3 発掘調査一覧表	4

## 図 版

- 1 豊中遺跡第1地点調査トレンチ（上）／豊中遺跡第2地点調査トレンチ（下）
- 2 豊中遺跡第3地点調査トレンチ（上）／豊中遺跡第4地点調査トレンチ（下）
- 3 豊中遺跡第5地点調査第2トレンチ（上）／池上曾根遺跡調査地点トレンチ（下）
- 4 池浦遺跡調査地点トレンチ（上）／板原遺跡調査地点トレンチ（下）

# 第1章 泉大津市と埋蔵文化財調査の状況

## 1. 泉大津市の位置と環境

泉大津市は大阪府南部、いわゆる泉州地域に属する。泉州地域東部には、大阪湾に沿って東西に和泉山脈が連なり、その山脈を源とし、幾多の河川が北に走行し、大阪湾に注ぐ。これらの河川はそれぞれ開析谷、河岸段丘を形成し、その両側には丘陵地形が南北方向に発達している。その丘陵部より北側は平坦で狭小な沖積地が形成されているが、泉大津市はこの沖積地上に立地しており、市域の標高は20m未満である。

泉大津市は、面積12.30km<sup>2</sup>、人口74,032人である。市を南北に横切って、私鉄南海線とJR阪和線が約2km離れてほぼ平行に走っている。これらの利用により、大阪市内まで所要時間約20分と近距離にある。このため、昭和40年代頃から開発が進み、古くからの町並みや本市の地場産業である織物工場の建物等は、紀州街道沿いの一部を除きその姿を消しつつある。郊外地に多くみられた溜め池も2箇所を残すのみとなり、また、田畠等の耕作地も徐々に少なくなっている。近年の開発は、平成5年頃のいわゆるバブル経済の時期を境に、大規模な開発は下火になっており、大部分の開発は臨海部に集中する傾向にある。ここ数年の人口の伸びは、この臨海部のマンション開発によるところが大きい。

## 2. 埋蔵文化財調査の現状

平成10年度の本市における埋蔵文化財届出件数及び調査件数は表1、2のとおりである。届出件数は234件で、平成5年以降、横這い傾向にある。

表2の遺跡別届出件数の工事の内訳でみると、民間の工事は、個人住宅26.9%、ガス・水道22.6%、分譲住宅20.9%、電話・電気5.5%、宅地造成3.8%、共同住宅3.4%、店舗・事務所2.6%、工場・倉庫1.7%、道路工事1.3%、その他1.3%、公共工事は、上・下水道がそれぞれ6.4%、3.4%である。工事内訳とその比率はほぼ例年通りであるが、分譲住宅のみが飛躍的な伸びをみせている。宅地売買価格の下落と無関係ではないと思われる。

遺跡別の届出件数は、虫取遺跡・豊中遺跡・池上曾根遺跡の順が多い。順位の変動はあるものの、この上位3者は、ほぼ不動となっている。今年度の発掘調査件数は8件で、豊中遺跡5件、池上曾根遺跡・池浦遺跡・板原遺跡がそれぞれ1件ずつである。調査件数は例年10~20件であるが、今年度は非常に少ない結果となった。



第1図 泉大津市の位置



- |          |          |          |            |           |          |          |
|----------|----------|----------|------------|-----------|----------|----------|
| 1. 大園遺跡  | 2. 森遺跡   | 3. 牛滝塚   | 4. 助松遺跡    | 5. 池上曾根遺跡 | 6. 豊中遺跡  | 7. 七ノ坪遺跡 |
| 8. 穴師遺跡  | 9. 池浦遺跡  | 10. 東雲遺跡 | 11. 欠御葉筋寺跡 | 12. 穴田遺跡  | 13. 板原遺跡 | 14. 虫取遺跡 |
| 15. 大福寺跡 | 16. 菊田城跡 | 17. 千原城跡 | 18. 真鍋城跡   | 19. 城の山   |          |          |

第2図 遺跡分布図

表1 遺跡別届出件数(平成9年度追加分)

(平成10年2月1日～平成10年3月31日)

8件の工事内容は、個人住宅4件、倉庫1件、店舗1件、分譲住宅に伴う宅地造成2件である。いずれの調査も、トレンチ掘削による土層断面及び床面観察に終始し、全面調査に至るものは無かった。他の工事は、基礎掘削深度が浅いことから立会調査あるいは、慎重工事を指示し、また、ガス管及び水道管引き込み工事、架線支持柱建設工事は慎重工事を指示している。

遺跡名	件数	内訳									
		個人住宅	ガス水道	電話電気	宅地造成	共同住宅	店舗事務所	工場倉庫	道路工事	その他	公共事業 上水下水
池上曾根	6	3	2					1			
豊中	9	1	4	1	1			1	1		
虫取	6	3	1	1	1						
大園	1	1									
板原	2		2								
池浦	4	1	2						1		
穴師	1								1		
七ノ坪	2	1		1							
東雲	3			1	1						1
穴田	1		1								
計	35	10	13	4	2	1	3	1	1		

表2 遺跡別届出件数

(平成10年4月1日～平成11年1月31日)

遺跡名	件数	内訳									
		個人 件数	ガス 水道	分譲 住宅	電話 電気	宅地 造成	共同 住宅	店舗 事務所	工場 倉庫	道路 工事	その他
池上曾根	39	11	8	4	3	1	3		1	1	3 4
豊中	62	29	14	1	4	4	1	3		2	3 1
虫取	84	15	14	38	3	1	2	2	1		5 3
大園	7		1	6							
板原	14	3	3		2	3		1	2		
池浦	14	2	4				1				6 1
穴師	4		3				1				
七ノ坪	3	1	1		1						
東雲	2		2								
穴田	1		1								
森	2	1	1								
助松	1	1									
城の山	1		1								
計	234	63 (26%)	53 (22%)	49 (20%)	13 (5%)	9 (3%)	8 (3%)	6 (2%)	4 (1%)	3 (1%)	15 (6%) 8 (3%)

表3 発掘調査一覧表

## 1. 豊中遺跡

調査地点(番号)	所 在 地	用 途	申請面積
第1地点 (9801)	豊中町2丁目 290-1	鉄骨造2階建 倉庫	410.59m <sup>2</sup>
第2地点 (9803)	北豊中町2丁目 366-40	鉄骨造3階建 個人住宅	69.8m <sup>2</sup>
第3地点 (9804)	北豊中町2丁目 366-17	鉄骨コンクリート造 3階建 個人住宅	127.53m <sup>2</sup>
第4地点 (9805)	豊中町3丁目 850-1	分譲住宅の建設に伴う 宅地造成	859.59m <sup>2</sup>
第5地点 (9901)	豊中町2丁目278及び 411-1、412-1の各一部	分譲住宅の建設に伴う 宅地造成	1402.02m <sup>2</sup>

## 2. 池上曾根遺跡

調査地点(番号)	所 在 地	用 途	申請面積
調査地点 (9802)	森町2丁目 186-10、11	鉄骨造3階建 個人住宅	486.62m <sup>2</sup>

## 3. 池浦遺跡

調査地点(番号)	所 在 地	用 途	申請面積
調査地点 (9806)	池浦町4丁目 227-1	軽量鉄骨造2階建 個人住宅	164.85m <sup>2</sup>

## 4. 板原遺跡

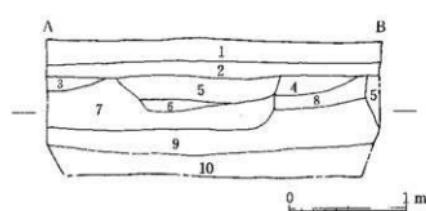
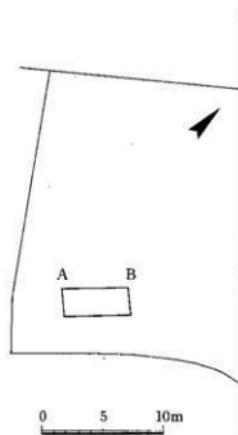
調査地点(番号)	所 在 地	用 途	申請面積
調査地点 (9807)	穴田77-1 77-3	2階建 自動車ショールーム 及び整備工場	1779.72m <sup>2</sup>

## 第2章 発掘調査成果

### 1. 豊中遺跡

豊中遺跡は国道26号線を長軸に、市の東端に広がる遺跡である。ここ数年、年間の調査件数が最も多く、また、現在までに本市で最も継続して調査が行われている遺跡もある。その成果から、国道26号線付近は古墳時代の、泉大津中央線付近は平安時代～中世にかけての集落の存在が伺える。しかし、平成5年以降、本調査に至ることがなく、今年度も5件の調査を実施したが、いずれも全面調査には至っていない。

第1地点(9801) 豊中町2丁目290-1



層位名

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 盛土        | 6. 灰青色土       |
| 2. 旧耕土(黒灰色土) | 7. 黄色土に6層が混じる |
| 3. 黄茶色土      | 8. 黄色土に4層が混じる |
| 4. 灰茶色土      | 9. 黄茶色粘質土     |
| 5. 青灰色土      | 10. 暗茶色粘質土    |
|              | } 粘性強い        |

第3図 豊中遺跡 第1地点 掘削位置図

第4図 豊中遺跡 第1地点 北壁断面図

当該地は遺跡中央部よりやや北側に位置し、100m東側で国道26号線に接する。鉄骨2階建倉庫の建設が予定されたため、工事に先立って調査を実施した。敷地の南隅に、南北2.5m、東西5.5mのトレンチを設定し、重機で1.2mの深さまで掘削を行った。

トレンチの層位は、上層から盛土(第1層)、旧耕土の黒灰色土(第2層)とほぼ水平に堆積する。続いて、黄茶色土(第3層)、青灰色土(第5層)、灰茶色土(第4層)が横並びで認められ、3層及び5層の下に、灰青色土(第6層)と、6層が混じる黄色土(第7層)、4層の下に4層が混じる黄色土(第8層)が続く。以下、黄茶色粘質土(第9層)、暗茶色粘質土(第10層)となる。9層及び、10層は粘性が強い。遺物及び遺構は認められない。写真撮影と図面を作成し、調査を終了した。



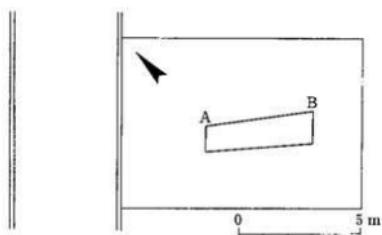
第5図 豊中遺跡調査地点図（1：5,000）

#### 第2地点 (9803) 北豊中町2丁目366-40

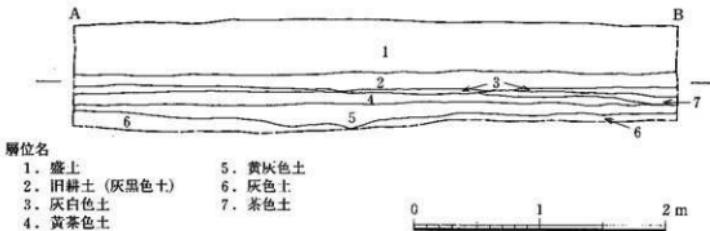
当該地は遺跡の北側に位置し、100m東で国道26号線に接する。付近は比較的小規模に区画された住宅地である。鉄骨造3階建個人住宅の立て替えが予定されたため、工事に先立って調査を実施した。

敷地のほぼ中央に南北1.3m、東西4.5mのトレンチを設定し、重機で0.9mの深さまで掘削を行った。トレンチの層位は、上層から盛土（第1層）、旧耕土の灰黒色土（第2層）、灰白色土（第3層）、黄茶色土（第4層）、黄灰色土（第5層）、灰色土（第6層）で、3層の下層に茶色土

(第7層)が4層を切ってみられるが、これ以外はほぼ水平に堆積が認められる。5層は若干の遺物及び炭片が認められるが、いずれも摩滅の激しい微少な破片である。断面においては遺構は認められない。6層の平面において、トレンチの長軸と平行して色調の変化が認められたが、建物基礎の掘削深度がトレンチの深さであるため、写真撮影と図面を作成し調査を終了した。

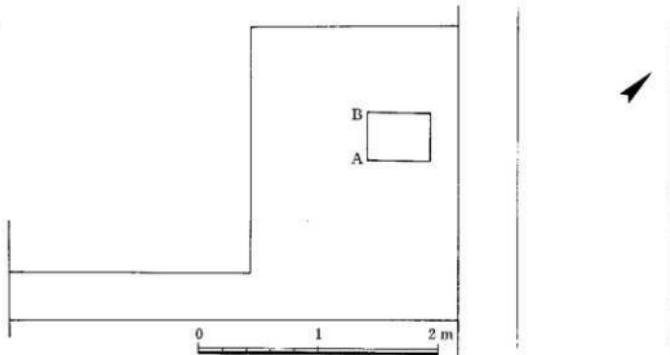


第6図 豊中遺跡 第2地点 掘削位置図



第7図 豊中遺跡 第2地点 北壁断面図

### 第3地点 (9804) 北豊中町2丁目366-17



第8図 豊中遺跡 第3地点 掘削位置図

第2調査地点の北、約50mに位置する。鉄筋コンクリート造2階建個人住宅の立て替えが予定されたため、工事に先立って、調査を実施した。

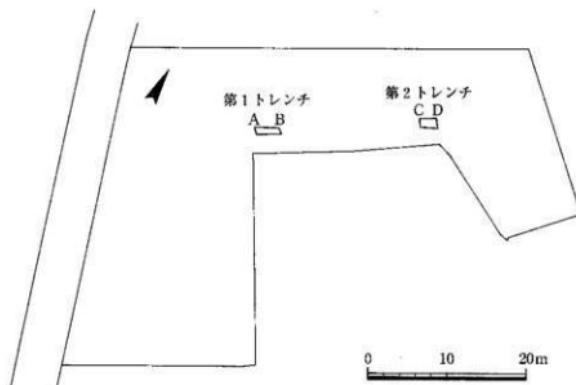
敷地の北隅に南北4m、東西5.3mの規模のトレンチを設定し、重機で深さ約1mまで掘削を行ったが、宅地造成時の盛土のみであった。敷地前面の水路底とほぼ一致する高さである。遺構・遺物は認められない。写真撮影を行い調査は終了した。

#### 第4地点(9805) 豊中町3丁目850-1

遺跡の西端に位置する。南で府営要池住宅に接し、50m東で国道26号線に接する。分譲住宅建設に伴い、敷地内でマンホール及び排水管の敷設が予定されたため、工事に先立って調査を実施した。

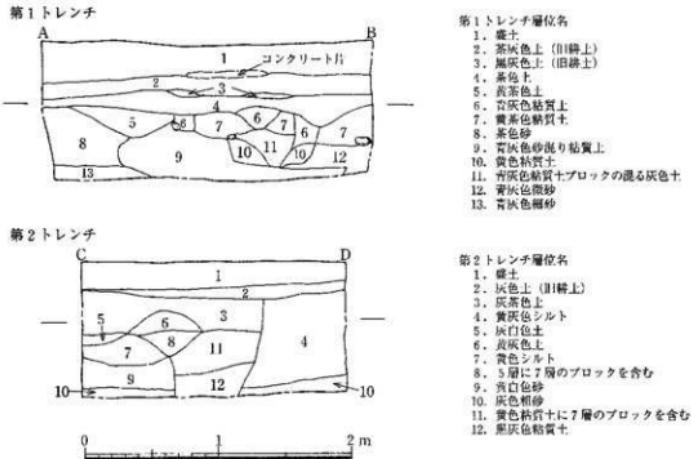
敷地中央に南北1.7m、東西0.5mの規模のトレンチを設定し、重機で深さ約2mまで掘削を行ったが、盛土のみであった。旧地形は北に向かって低くなっているようである。遺構・遺物は認められなかった。排水管は2m以内におさまるため、調査を終了した。

#### 第5地点(9901) 豊中町2丁目278、411-1、412-1各一部



第10図 豊中遺跡 第5地点 掘削位置図

当該地は遺跡のはば中央部で、木造分譲住宅の造成が予定されたため、工事に先立って調査を実施した。敷地の西側に第1トレンチ、そこから約17m東に第2トレンチを設定した。第1トレンチは東西3m、南北1mとし深さ1mまで、第2トレンチは東西2m、南北1.4mとし深さ1mまでそれぞれ重機で掘削を行った。第1トレンチの層位は、旧耕土下層の茶色土（第4層）は摩滅の激しい土師器を含む。4層以下はトレンチ両側に砂層がみられ、それらを切って黄茶色土（第5層）、青灰色粘質土（第6層）、黄茶色粘質土（第7層）、黄色粘質土（第10層）等の粘質土が認められる。7層は瓦器片をわずかに含む。第2トレンチの層位は、灰茶色土（第3層）は瓦器片を含む。5～8層は遺物はみられないが、3層と類似の層位と思われる。この下層には砂層（第9・10層）がみられる。トレンチ中央部には砂層を切って炭片、木片を含む粘質土（第11・12層）がみられるが、東で旧耕土直下から4層に切られ詳細は不明である。写真撮影と図面を作成し調査は終了した。



第11図 豊中遺跡 第5地点 北壁断面図

## 2. 池上曾根遺跡

池上曾根遺跡は、本市と和泉市に広がり、昭和51年に約11.5ヘクタールが史跡に指定されたが、その大部分は和泉市域である。本市における指定地外の遺跡範囲は曾根神社以西及び遺跡中心部から北に延びる自然堤防状の地域である。これらの地域は、古くからの村落と昭和40年代の開発部分が混在しているが、小区画の開発が多いため、大規模な調査は行われていない。そのため、史跡指定地中心部の構造に比べ、縁辺部は不明な点が多い。今年度も調査は1件のみで、面的な調査には至らなかった。

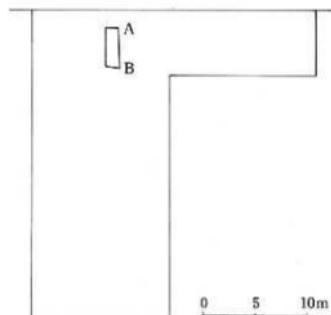


第12図 池上曾根遺跡調査地点図 (1:5,000)

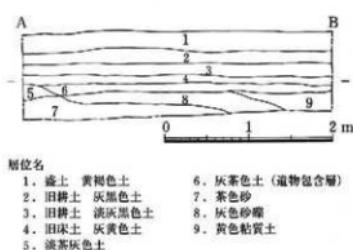
#### 調査地点 (9802) 森町2丁目186-10-11

当該調査地点は、遺跡中央部に位置し、府道松ノ浜曾根線から200m北側である。鉄骨造3階建て個人住宅が予定されたため、工事に先立って調査を実施した。

敷地西端に南北4m、東西1.2mのトレンチを設定し、重機で1.2mの深さまで掘削を行った。トレンチの層位は、黄褐色土（第1層）、旧耕土の灰黑色土・淡灰黑色土（第2・3層）、旧床土の灰黄色土（第4層）の順で、ほぼ水平の堆積がみられる。この下層の灰茶色土（第6層）は摩滅の激しい須恵器片、土師器片を含む。以下、茶色砂層（第7層）が15cm以上、灰色砂礫層（第8層）が26cmの厚みでみられる。この東側では黄色粘質土（第9層）が16cm以上の厚みでみられる。遺物はわずかで、しかも原型を留めないほど摩滅が激しい。また、遺構は認められない。写真撮影と図面を作成し調査を終了した。



第13図 池上曾根遺跡 調査地 掘削位置図



第14図 池上曾根遺跡 調査地 北壁断面図

### 3. 池浦遺跡

池浦遺跡は、弥生時代前期中段階に始まる市内で最も古い弥生集落として知られているが、近年まとまった面積での調査はほとんど実施していない。しかし、既往の調査成果から、市立病院付近と考えられていた遺跡中心部が、病院以西であることを確認しつつある。また、昨年度の調査で、朝鮮系無文土器の可能性をもつ破片を検出した。池上曾根遺跡との関わりを考察する上で重要な意味をもつ遺跡であると考えられる。

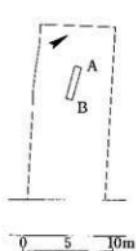


第15図 池浦遺跡調査地点図 (1:5,000)

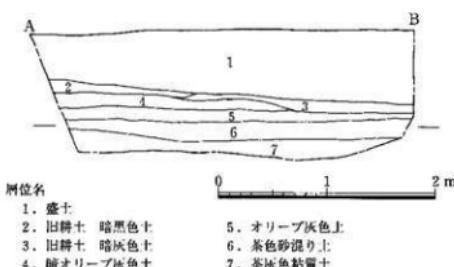
#### 調査地点 (9806) 池浦町4丁目227-1

当該地は、遺跡の中央部より東側に位置する。市立東陽中学校から東に約50mである。軽量鉄骨2階建て個人住宅の立て替えが予定されたため工事に先立って調査を実施した。

敷地中央の北側に東西3.7m、南北1m、の規模のトレンチを設定し、重機で1.1mの深さまで掘削を行った。トレンチの層は、盛土(第1層)、旧耕土の暗黒色土及び暗灰色土(第2・3層)、暗オリーブ灰色土(第4層)、オリーブ灰色土(第5層)、茶色砂混じり土(第6層)、茶灰色粘質土の順でほぼ水平に堆積が認められる。6層は、土師器、瓦器、須恵器の破片を含む中世の包含層である。7層は粘性が強い層である。遺構は認められない。写真撮影と図面を作成して調査を終了した。



第16図 池浦遺跡 調査地 掘削位置図



第17図 池浦遺跡 調査地 北壁断面図

## 第2章 発掘調査成果

### 1. 豊中遺跡

豊中遺跡は国道26号線を長軸に、市の東端に広がる遺跡である。ここ数年、年間の調査件数が最も多く、また、現在までに本市で最も継続して調査が行われている遺跡である。その成果から、国道26号線付近は古墳時代の、泉大津中央線付近は平安時代～中世にかけての集落の存在が



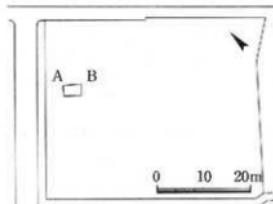
第18図 板原遺跡調査地点図（1：5,000）

伺える。しかし、平成5年以降、本調査に至ることがなく、今年度も5件の調査を実施したが、いずれも全面調査には至っていない。

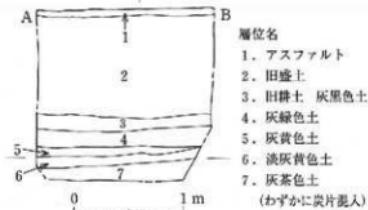
#### 第1地点（9801） 豊中町2丁目290-1

当該地は遺跡中央部よりやや北側に位置し、100m東側で国道26号線に接する。鉄骨2階建倉庫の建設が予定されたため、工事に先立って調査を実施した。敷地の南隅に、南北2.5m、東西5.5mのトレンチを設定し、重機で1.2mの深さまで掘削を行った。

トレンチの層位は、上層から盛土（第1層）、旧耕土の黒灰色土（第2層）とほぼ水平に堆積する。続いて、黄茶色土（第3層）、青灰色土（第5層）、灰茶色土（第4層）が横並びで認めら



第19図 板原遺跡 調査地 挖削位置図



第20図 板原遺跡 調査地 北壁断面図

発掘調査抄録 その1

ふりがな	いせみおおひしむいせうみかざいほくくつちようときいはう
書名	泉大津市埋蔵文化財発掘調査報告
副書名	
巻次	17
シリーズ名	泉大津市文化財調査報告
シリーズ番号	31
編著者名	虎商麻実
編集機関	泉大津市教育委員会
所在地	〒595-8686 大阪府泉大津市東雪町9番12号
発行年月日	西暦 1999年3月26日

量 所 名	ふりがな 所 在 地	コ 一 ド		北 緯 度 分 秒	東 經 度 分 秒	調 査 期 間	調 査 面 積 m <sup>2</sup>	調 査 原 因
		市 町 村	遺 跡 番 号					
豊 中	大阪府泉大津市 豊中町2丁目 290-1	272060		34度 29分 30秒	135度 25分 40秒	19980204	13.8	鉄骨2階建倉庫の建設に伴う事前調査
	豊中町2丁目 366-40			34度 29分 35秒	135度 25分 45秒	19980709	6.2	鉄骨造3階建個人住宅地に併えに伴う事前調査
	豊中町2丁目 366-17			34度 29分 40秒	135度 25分 45秒	19980908	2.1	鉄筋コンクリート2階建個人住宅地に替えに伴う事前調査
	豊中町3丁目 850-1			34度 29分 20秒	135度 25分 30秒	19980925	1.3	分譲住宅建設のため配水管等敷設に伴う事前調査
	豊中町2丁目 278, 411-1, 412-1各一部			34度 29分 30秒	135度 25分 35秒	19990119	5.4	木造分譲住宅予定地の造成工事に伴う事前調査

所取遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
豊 中	縄 文		遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった	
			遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった	
	古 墳		遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった	
			遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった	
	社 寺 跡		遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった	
			遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった	
	平 安		遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった	
			遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった	
	中 世		遺構は検出されなかった	土器 瓦 破片	
			遺構は検出されなかった	破片	

発掘調査抄録 その2

ふりがな 所取遺跡	ふりがな 所在 地	コ 一 ド		北 緯 ° ° °	東 經 ° ° °	調査期間	調査面積 m <sup>2</sup>	調査原因
		市町村	道路番号					
池上曾根	大阪府泉大津市 難町 2 丁目 186-10, 11	272060		34度 34分 16秒	135度 25分 40秒	19980701	6.0	鉄骨 3 階建個人住宅建設に伴う事前調査
池浦	大阪府泉大津市 池浦町 4 丁目 227-1	272060		34度 29分 46秒	135度 25分 8秒	19981014	3.2	軽量鉄骨 2 階建個人住宅建設に伴う事前調査
板原	大阪府泉大津市 穴田 77-1, 77-3	272060		34度 29分 8秒	135度 25分 20秒	19981208	8.8	ショーラーム・整備工場建て替えに伴う事前調査

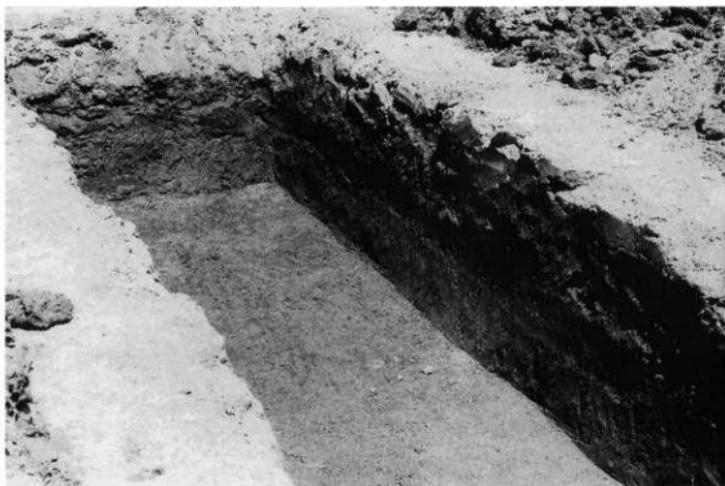
  

所取遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
池上曾根	集 落	弥生 古墳 中期 中期	遺構は検出されなかった	須恵器 土器 瓦	破片 破片
池浦	集 落	弥生 古墳 中期 中期	遺構は検出されなかった	須恵器 土器 瓦	破片 破片 破片
板原	集 落	弥生 古墳 中期 近世	遺構は検出されなかった	遺物は検出されなかった	

# 図 版



豊中遺跡第1地点調査トレンチ



豊中遺跡第2地点調査トレンチ



豊中遺跡第3地点調査トレンチ



豊中遺跡第4地点調査トレンチ



豊中遺跡第5地点調査第2トレンチ



池上曾根遺跡調査地点トレンチ

図版  
四



池浦遺跡調査地点トレンチ



板原遺跡調査地点トレンチ

泉大津市文化財調査報告31

泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報17

1999年3月

発行 泉大津市教育委員会  
編集 社会教育課  
泉大津市東雲町9番12号

印刷 和泉市池上町460番地の33  
和泉出版印刷株式会社

